

1 調査概要

1.1 調査の概要

(1) 調査の目的

外国人市民の抱える課題・ニーズ等を把握し、外国人市民が暮らしやすいまちづくりを進めるための施策を考える資料として、市民意識調査を実施しました。

(2) 調査の対象者

平成 29 年 6 月末時点で堺市に住民登録のある 18 歳以上の外国人市民 2,500 人
(※調査対象者は、市で無作為抽出)

(3) 調査方法と調査期間

調査方法は、郵送調査法(調査票を発送し、後日記入済みの調査票を返送する。)を採用しています。なお、調査票は日本語版(ふりがな付)、英語版とその他外国語版(中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語)で作成し、いずれかに記入する形式としています。

調査期間は、平成 29 年 8 月 7 日(月)～8 月 31 日(木)です。

(4) 回収率

対象者 2,500 人中の回収率:30.4%(対象者数 2,500 人中 761 人)

実質回収率:31.6%(実対象者数※2,405 人中 761 人)

※実対象者数:対象者数から転居先不明で郵送不能なもの・辞退者(95 人)を除いたもの

回収したアンケートの言語別数

回収した調査票数	761
日本語	361 (47.4%)
中国語	170 (22.3%)
ベトナム語	70 (9.2%)
英語	58 (7.6%)
韓国・朝鮮語	41 (5.4%)
タガログ語	34 (4.5%)
ポルトガル語	20 (2.6%)
スペイン語	7 (0.9%)

堺市の国籍別人口(平成 29 年 6 月末現在)は下表のとおりです。

[参考] 堺市の国籍別人口(平成 29 年 6 月末現在)

総数	中国*	韓国及び 朝鮮	ベトナム	フィリピン	ブラジル	ペルー	タイ	インド ネシア	米 国	英 国	オースト ラリア	カナダ	その他
13,009	4,710	4,289	1,345	799	302	202	175	144	133	43	32	24	811

*台湾を除く

(5) 主な質問項目

- ・生活情報の入手先
- ・堺市に住んでいて困っていること・心配なこと
- ・困っているときの相談先
- ・おおきな地震が起きると考えられていることを知っているか
- ・災害情報の入手先
- ・災害時の避難場所を知っているか
- ・災害に備えるためにほしい情報
- ・子どもの有無
- ・子どもの出産や子育てで困っていることや心配なこと
- ・子どもは小学校と中学校に行っているか
- ・子どもが学校で困っていること
- ・子どもが学校に行かない理由
- ・子どもの中学卒業後の進路
- ・子どもの教育に関して困っていることや心配なこと
- ・日本語能力(聞く、話す、読む、書く)
- ・現在日本語を学んでいるか
- ・日本語を学んでいない理由
- ・現在の仕事の雇われ方
- ・現在の仕事の分野(業種)
- ・現在の仕事の立場(職種)
- ・仕事で困ったこと
- ・仕事をしていない理由
- ・病気やけがをしたときの対応
- ・健康診断や検診に行ったことがあるか
- ・入っている健康保険(医療保険)の種類
- ・入っている年金の種類
- ・知っている市役所・区役所の行政サービス
- ・知っている市役所・区役所の案内や広報
- ・市役所・区役所の窓口で困ったことや心配なこと
- ・知っている堺市立国際交流プラザの行政サービスや民間国際交流団体のイベント
- ・同じ国や地域の人々が集まるコミュニティ
- ・コミュニティで話す内容
- ・地域の活動への参加
- ・地域の活動に参加しない理由
- ・現在の堺市での暮らしの満足度
- ・これまでに受けた差別や偏見
- ・外国人市民が暮らしやすいまちにするために必要な取り組み

(6) その他

英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語とふりがな付き日本語の調査票を使用しています。

(7) 報告書の表記について

- ・本報告書中にある図表の数字は、特段の記載がない場合は、回答者数を母数にした比率を表しています。
- ・アンケート調査結果における各設問の母数 N (Number of case の略)は、設問に対する有効回答者数を意味しています。
- ・表示した比率は小数点以下第 2 位で四捨五入しているため、表示した比率の合計が 100.0%にならない場合があります。また、図表中にある小計の比率は、各選択肢の比率を合計した数値と異なる場合があります。
- ・複数回答の図表は[MA]と表示しています。複数回答の比率の合計は 100.0%を超えます。
- ・単一回答の設問に対し、複数回答したものは無効とし、母数には含めていません。
- ・クロス集計表では、多い項目順に以下のように強調して示しています。
 - 1 番目に多い項目： **0.0%**
 - 2 番目に多い項目： **0.0%**
 - 3 番目に多い項目： 0.0% (図表 9、図表 23、図表 50、図表 57、図表 98、図表 108、図表 112、図表 114、図表 116、図表 118、図表 124、図表 130 のみ)
- ・クロス集計表における比率が 0.0%の場合は、「-」と記載しています。
- ・国籍別のクロス分析では、住民基本台帳集計結果から、堺市で比較的人口の多い、中国、韓国・朝鮮、ベトナム、フィリピン、ブラジル、ペルー、タイ、米国(アメリカ)をアルファベット順に並べて分析を行っています。
- ・各設問のその他の回答や自由回答の意見で紹介した内容は、おおむね調査票に記述された原文を尊重し、記載しています。

1.2 調査結果のまとめ

(1) 調査回答者のプロフィール

- ・回答者の性別は女性が 58.0%、男性が 39.7%、年齢は 30 才代が 23.5%、20 才代が 20.5%
- ・国籍は中国が 31.1%、韓国・朝鮮が 30.6%、ベトナムが 12.0%
- ・在留資格は、永住者が 44.5%、日本人の配偶者等が 12.4%、技術・人文知識・国際業務が 9.4%
- ・日本語以外で日常会話ができる言語は、中国語が 33.1%、英語が 30.2%、なしが 21.2%。
- ・居住している区は、堺区が 28.5%、南区では 17.9%、北区が 17.7%
- ・住んでいる家では、持ち家(一戸建て)が 24.7%、民間のマンション・アパートが 21.7%、府営住宅・市営住宅が 15.3%
- ・日本での滞在年数は 30 年以上が 27.5%、5 年以上～10 年より少ないが 12.4%、20 年以上～30 年より少ないが 12.0%
- ・堺市での滞在年数は 30 年以上が 20.0%、1 年より少ないが 13.1%、5 年以上～10 年より少ないが 12.1%
- ・堺市に住む理由は、家族と一緒に暮らすために 39.0%、仕事先や学校が近くにあるからが 38.0%、友だちや知り合いがいるからが 11.8%
- ・現在、一緒に暮らしている人は、パートナーや結婚相手(婚姻関係がある)が 50.1%、子ども(パートナーの子どもも含む)が 34.3%、ひとり暮らし(会社の寮、留学生寮を含む)が 19.2%
- ・同居者の合計人数は 2 人が 28.1%、3 人が 21.6%、4 人が 15.2%

(2) 生活情報

- ・生活情報の入手先は、家族(子どもやパートナーなど)が 51.8%、同じ国籍の友だち・知り合い・集まりが 49.9%、日本人の友だち・知り合い・集まりが 49.1%
- ・堺市に住んでいて困っていること・心配なことでは、生活で困っていることや心配なことではないが 27.1%、税金のしくみや減税の申し込み方が 22.5%、地震や災害が起きたときどうすればいいかわからないが 21.4%
- ・困っているときの相談先は、家族(子どもやパートナーなど)が 54.9%、同じ国籍の友だち・知り合い・集まりが 46.3%、日本人の友だち・知り合い・集まりが 43.9%

(3) 防災・減災

- ・近い将来、おおきな地震が起きると考えられていることを 75.8%は知っている。ただし、ベトナム国籍の人は知らない人が 58.2%
- ・災害情報の入手先では、テレビ、ラジオが 68.1%、家族(子どもやパートナーなど)が 35.1%、日本人の友だち・知り合い・集まりが 28.4%
- ・避難場所を知っている人は 59.1%。東区や南区、美原区では 7 割近くの人が知っている

- ・災害に備えるためにほしい情報では、避難できる場所とそこに行くまでの道順が 61.5%、津波が届かない場所とそこに行くまでの道順が 50.1%、離ればなれになった家族と連絡をとる方法が 49.3%

(4) 子育て・教育

- ・子どもの出産や子育てで困っていることや心配なことでは、困ったことや心配なことはないが 31.3%、出産に必要な費用が 26.1%、子どもの健診や予防接種の内容が 26.0%
- ・子どもがいる人は 57.2%。その内、小学校に行っている子どもがいる人は 25.5%、中学校に行っている子どもがいる人は 9.7%、外国人学校(インターナショナルスクール、韓国学校、朝鮮学校、ブラジル学校など)に行っている子どもがいる人は 0.7%、小・中学校に行っていない子どもがいる人は 43.4%
- ・子どもが学校で困っていることでは、困っていることや心配なことはないが 45.3%、進学できるかどうか分からないが 12.9%、授業の日本語が分からないが 12.9%
- ・子どもが学校に行かない理由は、いじめが心配が 2.6%、子どもは仕事やアルバイトをする必要があるが 1.6%、子どもは家事や兄弟姉妹の世話をする必要があるので 1.1%
- ・子どもの中学卒業後の進路について、日本の高校に進学させたいが 85.7%、日本で就職させたいが 45.2%、子どもがしたいことをさせたいが 35.7%
- ・子どもの教育に関して困っていることや心配なことでは、困っていることや心配なことはないが 23.8%、日本の教育制度が分からないが 19.1%、先生や他の親との会話ができないが 17.9%

(5) 日本語能力と学習

- ・聞く能力では、テレビのニュースやドラマを聞いて理解できるが 51.2%、相手の言うことを聞いて大体理解できるが 16.6%、ほとんど聞きとれないが 4.2%
- ・話す能力では、自分の言いたいことが問題なく話せるが 41.5%、自分の言いたいことが大体話せるが 23.3%、ほとんど話せないが 2.8%
- ・読む能力では、市役所や学校・職場からの手紙やお知らせを読んで理解できるが 48.3%、絵に付いた簡単な指示(ごみの捨て方、料理の作り方)が分かるが 15.2%、ほとんど読めないが 8.2%
- ・書く能力では、仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡・料理の作り方など状況や方法を説明する文章を書くことができるが 32.3%、名前や国名、住所などが書けるが 22.3%、ほとんど書けないが 9.2%
- ・日本語を学んでいる人は 34.3%、学んでいない人は 59.9%
- ・日本語を学んでいない理由は、もう十分に日本語ができるからが 50.9%、仕事のために日本語を学ぶ時間的余裕がないからが 25.4%、日本語教室の情報がないからが 11.0%

(6) 仕事

- ・仕事の雇われ方は、正社員が 24.1%、仕事をしていないが 18.1%、パートタイマー、アルバイトが 15.6%

- ・仕事の分野(業種)は、製造業が 23.6%、サービス業者(他に分類されないもの)が 15.2%、宿泊業・飲食サービス業が 6.7%
- ・仕事の立場(職種)では、工場などの工員・作業員(技能工、食品加工など)が 21.8%、事務職(営業事務、一般事務、経理事務、秘書等)が 6.3%、販売員(飲食・販売など)が 6.1%
- ・仕事で困ったことでは、特に困ったことはないが 46.3%、賃金(給与、収入)や労働時間などの条件に不満があるが 14.2%、日本語でのコミュニケーションができないが 11.0%
- ・仕事をしていない理由は、今は、仕事をする必要がないが 26.5%、探しているが仕事がないが 9.8%、希望する仕事がない又は自分の力を活かせる仕事がないが 5.3%

(7) 医療・保険・福祉

- ・病気やけがをしたとき、ひとりで病院に行くが 63.9%、日本語が分かる家族と一緒に病院に行くが 16.6%、日本語が分かる家族以外の人と一緒に病院に行くが 7.0%
- ・健康診断や健診では、職場で行う定期健診を受けたことがあるが 43.2%、保健センターなどが行う定期健診を受けたことがあるが 21.8%、病院などで行う人間ドックや PET 検診を受けたことがあるが 16.2%
- ・入っている健康保険(医療保険)では、仕事先の健康保険(雇用保険など)が 34.4%、国民健康保険が 28.0%、仕事先の健康保険(雇用保険など)に家族として入っているが 13.4%
- ・入っている年金では、仕事先の公的年金(厚生年金など)が 39.9%、年金に入っていないが 24.4%、国民年金が 20.1%

(8) 行政サービス

- ・市役所・区役所が外国人市民にも行っている行政サービスで知っているものは、国民健康保険が 66.8%、国民年金が 52.7%、児童手当(児童扶養手当)が 36.0%
- ・市役所・区役所が出している案内や広報で知っているものは、広報さかいが 48.0%、堺市ホームページが 31.8%、防災ハンドブックが 14.6%
- ・市役所・区役所の窓口で困ったことや心配なことでは、特に困ったことはないが 60.2%、申込書などが日本語で、どこに何を書けばよいかわからないが 15.1%、申込書などの日本語が難しいため、内容がわからないが 13.9%
- ・堺市立国際交流プラザの行政サービスでは、国際交流プラザを知らない人が 46.8%、入門レベルのための日本語教室が 11.4%、ボランティア通訳者の派遣が 8.1%

(9) 地域への参加

- ・同じ国や地域の人々が集まるコミュニティについて、わからないが 40.7%、ないが 19.2%、堺市内にはないが大阪府内にはあるが 8.6%

- ・コミュニティで話す内容は、趣味・レジャーが 11.8%、母国のことが 11.4%、学校・教育が 10.9%、雇用・仕事が 10.9%
- ・地域で参加している活動は、参加していない人は 37.6%、町内会・自治会に入っているが 23.3%、参加していないがしたい気持ちはある人は 18.1%、地域のまつりや運動会に参加しているが 10.2%、学校の授業や行事に協力しているが 7.8%
- ・地域の活動に参加しない理由は、参加する時間がないが 46.2%、活動していることを知らないが 26.6%、誘われないが 23.1%

(10) 暮らしやすい社会について

- ・現在の堺市の暮らしに満足しているが 38.2%、まあまあ満足しているが 47.4%、合わせて 85.6%が満足。多少不満があるが 8.8%、非常に不満があるが 1.8%、合わせて 10.6%
- ・堺市に住んでいてこれまで受けた差別や偏見では、特にないが 55.7%、携帯電話やクレジットカードを申し込むときに外国人を理由に条件が厳しくなったが 12.2%、外国人ということで傷つける言葉(「母国に帰れ」など)を言われたが 10.0%、外国人ということで仕事に雇われなかったが 8.5%
- ・外国人市民が暮らしやすいまちにするために必要な取り組みは、日本語や日本文化を学べる機会を増やすが 36.7%、生活に必要な情報を多言語で知らせるが 28.4%、仕事を探す支援をするが 25.8%

(11) 自由意見

- ・意見のある分野は、医療・福祉が 27.9%、言語が 21.3%、生活情報が 20.1%、239 人が自由記載欄に意見を記入した。